

活 動 報 告 書

自 平成28年4月 1日

至 平成30年3月31日

春秋懇話会を中心に、ゴルフ部会、例会といった従来の枠組みを維持しつつ、さまざまな新しい試みに挑戦して参りました。また、会員の組織化を強化することを意識的に追求して参りました。

会員相互の研鑽と知識の交流を目的とした例会は定着し、会員あての「メールレター」を定期的に発行できるようになりました。

1. 春秋懇話会の開催

平成28年総会・春季懇話会 平成28年5月27日（水）学士会館

堀江正彦氏（外務省参与・地球環境問題担当大使）の講演

「地球温暖化COPの歴史とパリ協定＜パリ協定をめぐる外交の裏側＞」

平成28年秋季懇話会 平成28年10月16日（日）日本教育会館

西畑一哉氏（学校法人二松學舎常任理事、元日銀参事役）の講演

「反社会的勢力の現状と問題点－金融機関との関係を中心に」

平成29年春季懇話会 平成29年5月31日（水）学士会館

臼井正樹氏（大阪大学大学院経済学研究科講師）の講演

「日本経済の再生に向けて～アベノミクスをどう評価し、どう見直すべきか」

平成29年秋季懇話会 平成29年11月7日（土）日本教育会館

谷本篤洋氏（三井住友信託銀行上席理事）の講演

「円滑な相続・資産承継のために～信託の活用等、あれこれ～」

各回とも法学部同窓会（青雲会東京支部）と共催、また春季は大阪大学大学院経済学研究科・経済学部オープン・ファカルティ・センター（OFC）とも共催で実施し、各回80名前後の参加を得ました。

2. ゴルフ部会の活動

昨年9月に開催した秋のコンペでゴルフコンペは34回を数えるに至りました。
法学部・工学部との3学部対抗戦である初打ちコンペは、今年で5回目となり定着するに至っています。今年も39名参加の大コンペとなり、同窓の学部横断的な懇親におおいに寄与しています。
シニア会は、定例の軽井沢ツアーを中心に活発な活動を継続しております。

3. 例会（勉強会）を継続開催

平成28年3月に発足した例会は、2年間で12回開催致しました。
会員相互研鑽を目的に、会員の専門的知識や経験の交流を追求しています。
3月17日（土）には、安田洋祐さん（大阪大学大学院経済学研究科准教授）のお話し「グローバル資本主義の行方と日本経済のチャンス」を聞きました。

4. 会員の連絡網を整備

本部同窓会などとの連携により、約950名の会員名簿と、約530通のメールアドレスを整備できました。

5. その他

- ・ 平成26年10月にはじめた「メールレター」はすでに25号を数えました。
対象は、当会でメールアドレスを把握している会員が対象です。
- ・ 当会の公式ページを設置したフェイスブックは、随時更新を行い、主として、母校情報を中心に発信を続けています。
- ・ その他、ビアパーティなど、主として若手をターゲットとした催しも開催致しました。
- ・ 期別幹事体制の強化については、具体的な成果を得るまでには至っておらず継続課題と考えています。

以上